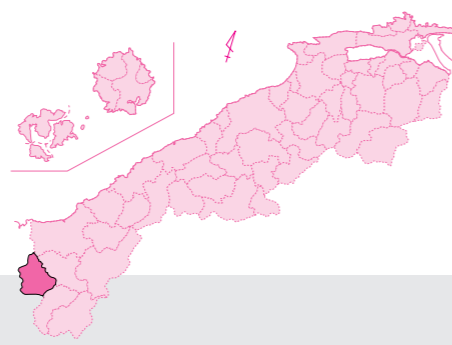


城下町いま昔

津和野町



西周旧居



太鼓谷稲成神社



永明寺



弥栄神社



多胡家表門・番所土堀



津和野城跡



津和野藩御殿跡・嘉楽園



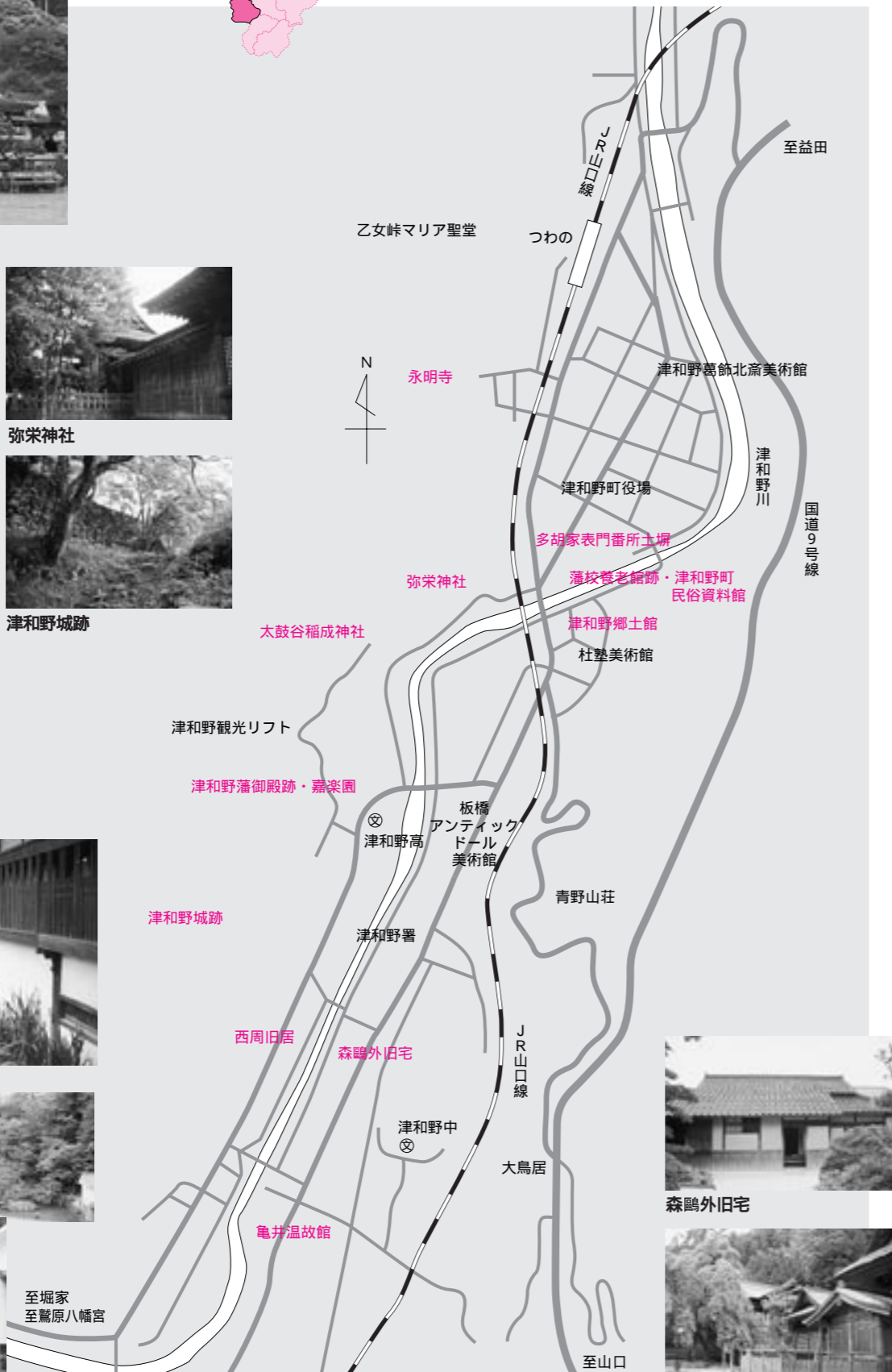
藩校養老館跡



堀家



至堀家
至鷺原八幡宮



森鷗外旧宅



鷺原八幡宮

茅葺き屋根の大寺院 永明寺

津和野町後田
＜指定＞県・絵画・建造物
(本堂、庫裏、鐘楼)

津和野城主・吉見頼弘が創建した曹洞宗のお寺。津和野城の総門を移したと伝えられる山門や茅葺きの本堂が見事。県の文化財に指定されている「絹本着色十六羅漢像図」をはじめ、寺宝が多数ある。境内には、文豪・森鷗外の「千姫事件」で有名な坂崎出羽守直盛・成正、津和野藩家老・多胡家、森鷗外など多数の著名人の墓がある。
＜交通＞ J R津和野駅から徒歩10分
＜連絡先＞ 08567-2-0137

津和野のシンボル、朱の鳥居が美しい 太鼓谷稲成神社

津和野町後田
＜指定＞県・古文書(天球儀、地球儀、測量図など)
津和野藩主・亀井矩貞が城の鎮護と領民の安穩を願って、京都府の伏見稲荷から勧請した。奉納された朱の鳥居は参道に並べられ、さながら赤いトンネルのよう。参拝者も多く、初詣には参道がいっぱいになる。
＜交通＞ J R津和野駅からバス5分
津和野高校前下車、徒歩10分
＜連絡先＞ 08567-2-0219

中世から近世の山城 津和野城跡

津和野町鷺原・後田
＜指定＞国・史跡
標高370mの丘陵上一帯に造られた山城跡で、中世には全山に及ぶ大規模なものであったらしい。今でも石垣などが残っている。途中までリフトが付いているので、簡単に上がることができる。山上からは市街が一望でき、また秋の紅葉は美しい。
＜交通＞ J R津和野駅からバス5分
津和野高校前下車、リフト下車後、徒歩20分
＜連絡先＞ 08567-2-0376 (津和野観光リフト)

重厚な門が迎える 旧津和野藩家老 多胡家表門・番所土堀

津和野町後田
＜指定＞県・建造物
殿町通りのもっとも西側、藩校・養老館跡の向かい側に、重厚な門が残されている。ここには津和野藩家老・多胡家の屋敷があり、

現在はその門のみ県指定文化財となっていて保存されている。
＜交通＞ J R津和野駅から徒歩10分

津和野城を見上げて 津和野藩御殿跡・嘉楽園

津和野町後田
＜指定＞県・史跡
津和野城登山口近くにある津和野高校校庭は、津和野藩本門があった所。藩邸だった場所は、現在公園にされている。この公園は1891年に造られたものだが、「嘉楽園」という名は、もともとこの地にあった津和野藩邸の庭・嘉楽園に由来する。奥には物見やぐらが移築復元されている。
＜交通＞ J R津和野駅からバス7分
津和野高校前下車すぐ

鍛山王の屋敷、美しい庭園 堀家

津和野町邑輝
代々鍛山経営を家業とした家で、15代藤十郎は鍛山王とまで呼ばれるほどであった。長い白壁の続く屋敷は1788年の建築と言われ、土間から見上げるとその高い天井や太い柱が歴史を感じさせる。藤十郎が造らせたと言われる美しい庭園は見もの。庭園は9時から5時。一般500円、小中生250円。
＜交通＞ J R津和野駅バス30分堀庭園前下車すぐ
＜連絡先＞ 08567-2-0010

文豪をしのぶ 森鷗外旧宅

津和野町町田横堀
＜指定＞国・史跡
文豪・森鷗外の旧宅。森家は津和野藩藩医の家で、50石取りの家柄であった。これにふさわしく、武士の家らしい質素なたたずまいを漂わせていて、町内に残されている堀家、西周旧宅と比べてみるのもおもしろい。鷗外の旧宅に隣接して、鷗外の業績をたたえる記念館がある。入館料100円。
＜交通＞ J R津和野駅からバス7分
鷗外旧居前下車、徒歩2分
＜連絡先＞ 08567-2-3210(森鷗外記念館)

思想家の家で思いにふける 西周旧居

津和野町後田
＜指定＞国・史跡
森鷗外旧宅から川をはさんですぐ近くに、日本の哲学の先駆

者として名高い、西周の旧宅がある。建物自体は江戸中期の中流武家屋敷とされているが、茅葺きの母屋に蔵を備えていて、農家を思わせるたたずまいだ。蔵の一角には、西周が勉学に励んだというスペースが残されている。
＜交通＞ J R津和野駅からバス7分
鷗外旧居前下車、徒歩5分
＜いにしえ＞ 4巻P28

鯉が泳ぐ白壁の建物 藩校養老館跡・津和野町 民俗資料館

津和野町殿町
＜指定＞県・史跡
鯉で有名な殿町通りの一角に、津和野町民俗資料館と図書館がある。この資料館と図書館のある建物は、もとは津和野藩の藩校(武士の子弟に学問を教える藩営の学校)だった。白壁に黒い格子の、風情ある風景をかもし出している。資料館は8時30分から5時。年中無休。一般200円、中学生120円、小学生70円。
＜交通＞ J R津和野駅から徒歩10分
＜連絡先＞ 08567-2-1000

鷺の舞う典雅な神事 弥栄神社

津和野町後田
＜指定＞国・重要無形民俗文化財(鷺舞)
毎年7月20日と27日に行われる神事の「鷺舞」が有名。神社の神幸祭と還幸祭に奉納される神事の1つで、歌に合わせて鷺の頭を着けた2人の舞い手が、向き合って羽根を開くなどの所作を繰り返す。近年は子供たちによる小鷺踊りも加わり、一段と華やかなものになっている。
＜交通＞ J R津和野駅から徒歩10分

迫力ある社殿と流鏝馬馬場 鷺原八幡宮

津和野町鷺原
＜指定＞県・建造物(社殿)・史跡(流鏝馬馬場)
代々の津和野城主の守護神として信仰されてきた八幡宮。社殿は楼門、拜殿、本殿があり県指定文化財。流れ造りの本殿は覆屋におおわれているが、楼門は2層造りで茅葺き屋根の迫

力あるつくりだ。また境内には、全長243mの広大な馬場がある。室町時代に鎌倉の鶴岡八幡宮の馬場を模して造られたもので、現在全国唯一の原型を残す横馬場形式。4月第2日曜日には満開の桜のもと、走る馬の背から矢を射る流鏝馬神事が盛大に行われる。
＜交通＞ J R津和野駅からバス15分
鷺原下車すぐ
＜いにしえ＞ 6巻P19

津和野の歴史を知る 津和野郷土館

津和野町森村
＜指定＞県・絵画(石見国絵図、西周肖像など)
津和野大橋のたもとにある資料館。趣のある和洋折衷の建物で、古代の出土品から中近世の資料、近代の津和野出身の偉人にちなんだ品、太鼓谷稲成神社の宝物などを展示している。8時30分から5時。年中無休。一般350円、中学生250円、小学生120円。
＜交通＞ J R津和野駅から徒歩10分
＜連絡先＞ 08567-2-0300
＜いにしえ＞ 4巻P9

亀井家ゆかりの品々が一堂 亀井温故館

津和野町中座
＜指定＞県・書跡
旧津和野藩の藩主の亀井家の別邸につくられた博物館。亀井家に伝わる美術工芸品やゆかりの品々が展示されている。所蔵の紙本墨書新勅撰和歌集は県指定文化財。庭園も見事。8時30分から5時。一般500円、中学生300円、小学生200円。
＜交通＞ J R津和野駅からバス10分
新橋下車、徒歩3分
＜連絡先＞ 08567-2-1412

おたつき情報

多くの観光資源が集中する津和野町殿町通りには、その景観を保つためのさまざまな配慮が見られる。旧郡役所の建物をそのまま利用した町役場もその1つで、瓦ぶきの門やすすけた墨文字も古めかしい看板など、それ自体が文化財と呼べるものになっている。ただし、役場らしき建物を探そうとすると間違いなく迷うので注意。